

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 7 月 26 日 (2007.7.26)

【公表番号】特表 2006-514849 (P2006-514849A)

【公表日】平成 18 年 5 月 18 日 (2006.5.18)

【年通号数】公開・登録公報 2006-019

【出願番号】特願 2004-563968 (P2004-563968)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/49 (2006.01)

A 6 1 F 13/511 (2006.01)

A 6 1 F 13/15 (2006.01)

【F I】

A 4 1 B 13/02 E

A 6 1 F 13/18 3 1 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 6 月 7 日 (2007.6.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも一方の側において柔らかく絹のような触感を示すポリマーウェブを製造する方法であって、前記方法は下記のステップ (a) (b) (c) (d) (e) (f) を含む方法。

(a) 前駆体ウェブを調製するステップ

(b) 少なくとも 1 つの吸引室を含む形成ドラムを調製するステップ

(c) 形成ドラム面上を移動することができる形成構造体を調製するステップであって、前記形成構造体は、以下の (i) (ii) (iii) を含むステップ

(i) 形成構造体の対向する第 1 および第 2 の表面の間で流体の連通が可能である複数の形成構造体のアパーチャを規定する複数の形成構造体を相互連結する部材

(ii) 前記形成構造体の前記第 1 の表面から延出する複数の突出部、および、

(iii) 前記突出部は、少なくとも約 0.5 の平均縦横比を有する柱状の形態である

(d) 前駆体ウェブを形成構造体と隣接するように供給するステップ

(e) 形成構造体を真空室と隣接するように移動するステップ

(f) 形成構造体に、十分なレベルの吸引力を付与して、ポリマーウェブに順応する十分な部分圧力を発生させ、それによって、その少なくとも一方の側において柔らかく絹のような触感を示すポリマーウェブを形成するステップ

【請求項 2】

突出部は少なくとも 50 ミクロンの平均高さを有し、隣接突出部は少なくとも約 100 ミクロンの中心間距離を有する請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

突出部の中心間距離は約 100 ミクロンと約 250 ミクロンの間である請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

突出部は、少なくとも 50 ミクロンの平均高さとは少なくとも 0.5 の平均縦横比を有する請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

突出部は、少なくとも 75 ミクロンの平均高さで少なくとも 1.0 の平均縦横比を有する請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

形成構造体の第 1 の表面は、第 1 の表面エリアを規定し、形成構造体は、前記第 1 の表面エリアの 1 平方センチ当たり少なくとも約 1550 個の突出部を含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

少なくとも一方の側において柔らかく絹のような触感を示すポリマーウェブを製造する方法であって、前記方法は下記のステップ(a)(b)(c)(d)(e)を含む方法。

(a)少なくとも 1 つの吸引室を含む形成ドラムを調製するステップ

(b)形成ドラム面上を移動することができる形成構造体を調製するステップであって、前記形成構造体は、以下の(i)(ii)(iii)を含むステップ

(i)形成構造体の対向する第 1 および第 2 の表面の間で流体の連通が可能である複数の形成構造体のアパーチャを規定する複数の形成構造体を相互連結する部材

(ii)前記形成構造体の前記第 1 の表面から延出する複数の突出部、および、

(iii)前記突出部は、少なくとも約 1 の平均縦横比を有する柱状の形態である

(c)ポリマーフィルムである前駆体ウェブを押し出すステップ

(d)前駆体ウェブを形成構造体と隣接するように供給するステップ、および、

(e)吸引によって吸引室の少なくとも一部に、形成構造体の面上で前駆体ウェブを形成するのに十分な流体圧力を付与するステップ

【請求項 8】

以下のステップ(f)(g)を更に含む請求項 7 に記載の方法。

(f)再加熱手段を調製するステップ、および、

(g)前駆体ウェブを押し出した後、前駆体ウェブを、再加熱手段によって、形成構造体に順応することが可能な充分な高温にまで加熱し、それによって、少なくとも一方の側において柔らかく絹のような触感を示すポリマーウェブを形成するステップ

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】少なくとも一方の側において柔らかく絹のような触感を示すポリマーウェブを製造する方法